

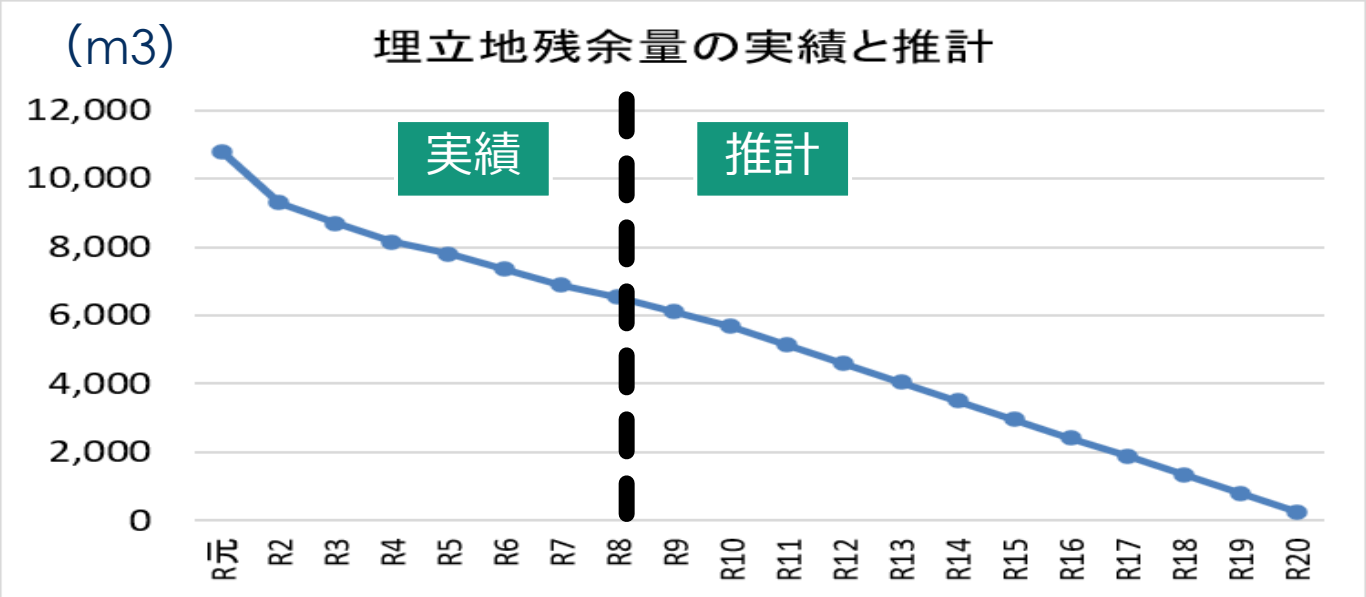


住民意見交換会

～大空町の廃棄物処理～

令和8年9月2日、3日開催

【最終処分場埋立地の現状】

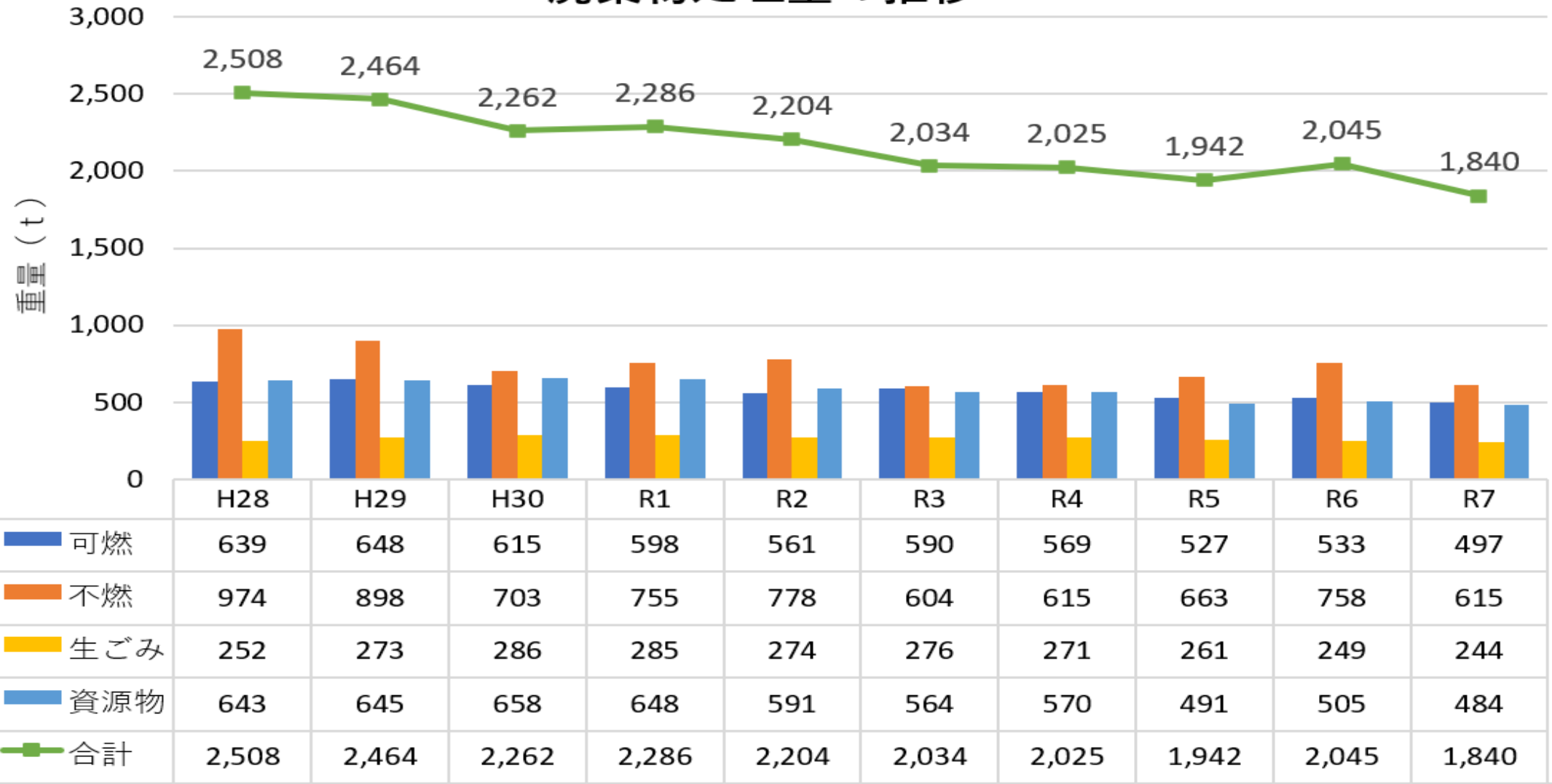


- 一般廃棄物最終処分場埋立地
- (1) 平成16年供用開始
 - (2) 埋立容量 34,900m3
 - (3) 当初予定埋立期間
平成16年～平成31年
 - (4) 毎年度測量し残余量を調査

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
処理量 (t)	722	789	800	652	654	705	812	668

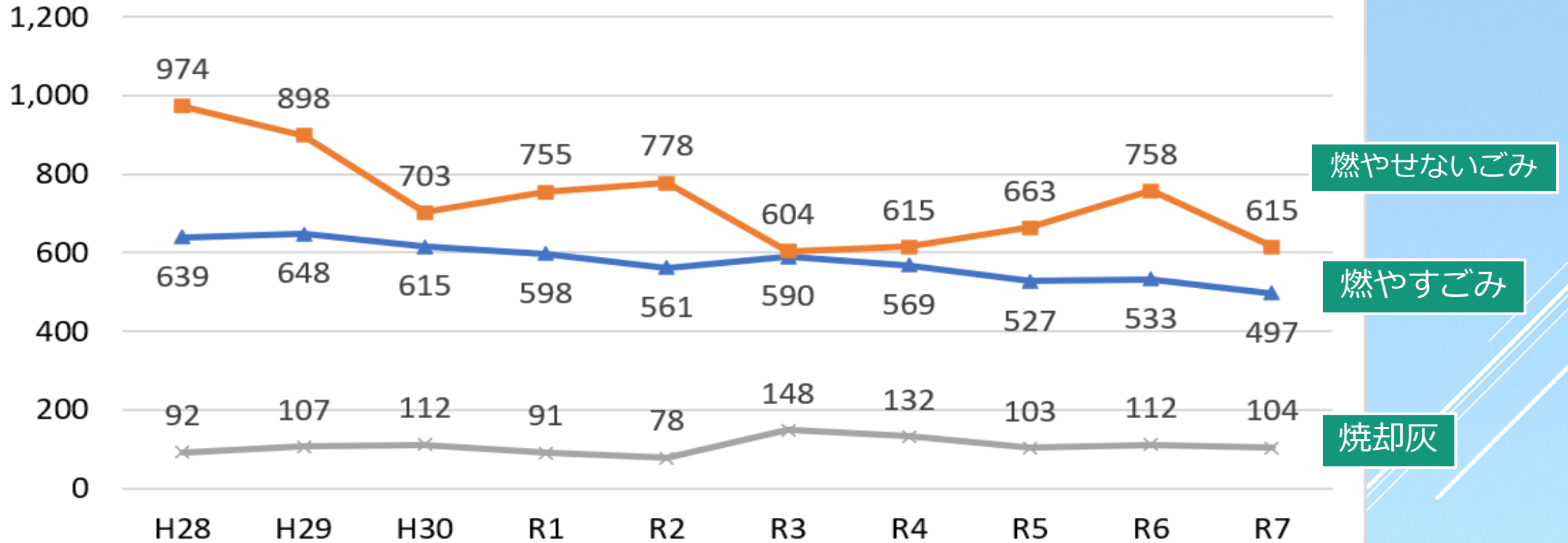
	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
埋立地残余量 (m3)	10,763	9,289	8,686	8,151	7,790	7,347	6,887	6,524
前年度差 (m3)	△1,214	△1,474	△603	△535	△361	△443	△460	△363

廃棄物処理量の推移



(t)

燃やすごみ・燃やせないごみの推移

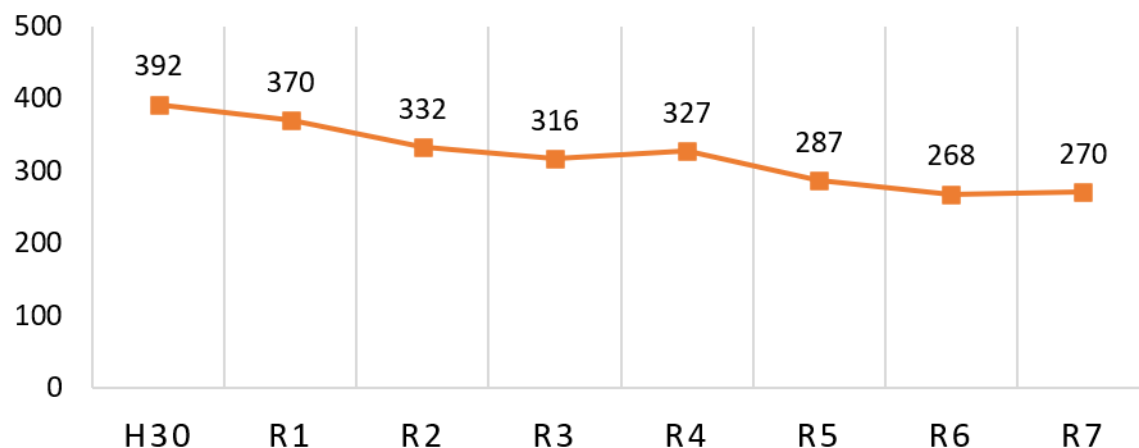


- ※1 燃やせないごみの数値には、焼却灰が含まれています。(大空町+網走市+斜里町)
- ※2 令和3年度から燃やせないごみの一部が網走市で処理されています。
- ※3 令和6年度は燃やせないごみが、突発的に増えています。

資源物処理の状況



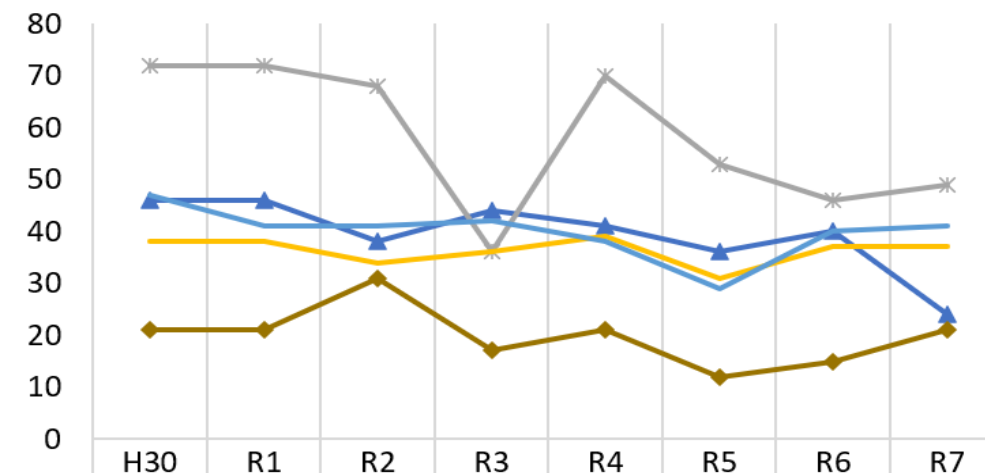
(t) 資源物処理量の推移（紙類）



平成30年度と令和7年度の比較では、紙類が△122 t、ビン類が△23 tと変化が大きい。

※他の中古衣料、食用廃油、発泡スチロールは、全体に占める割合が小さいためグラフ省略。ともに年間2 t～4 tで推移

(t) 資源物処理量の推移



	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
缶類	46	46	38	44	41	36	40	24
ビン類	72	72	68	36	70	53	46	49
ペットボトル	38	38	34	36	39	31	37	37
容器包装プラスチック	47	41	41	42	38	29	40	41
小型家電	21	21	31	17	21	12	15	21

ごみ・資源物処理状況

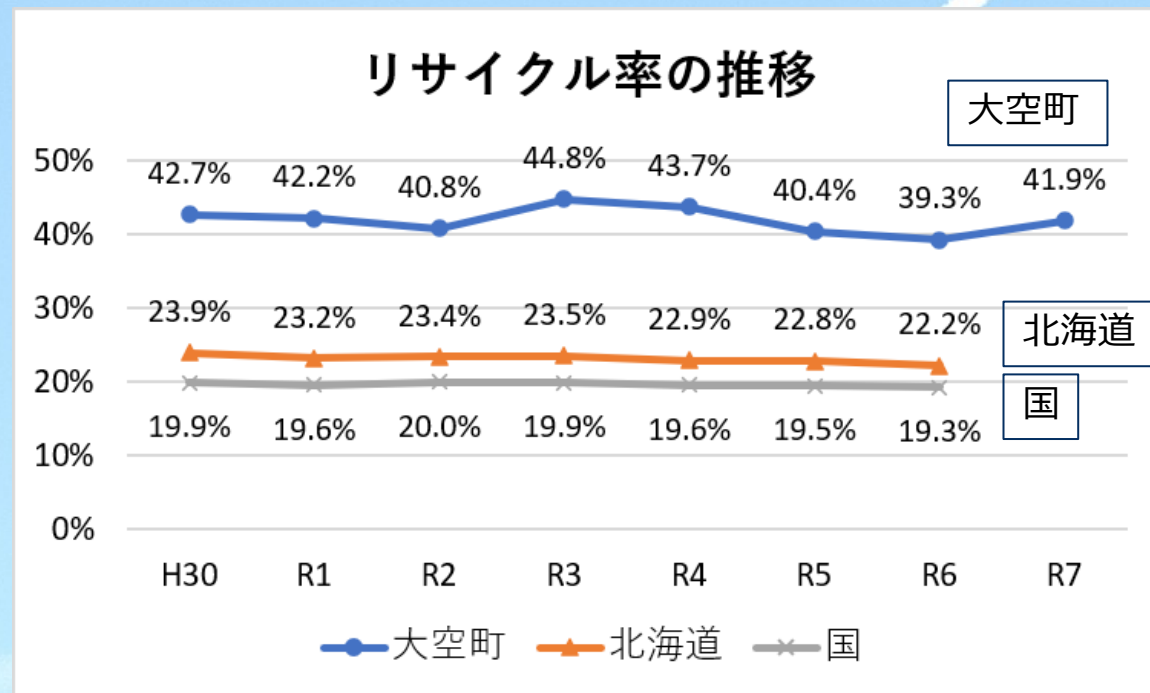
(t)

		R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	平 均
ごみ	合計	1,470	1,456	1,448	1,540	1,356	1,453
	燃やすごみ	590	569	527	533	497	543
	燃やせないごみ	604	616	660	758	615	650
	生ごみ	276	271	261	249	244	260
資源物合計		564	571	494	505	484	524
搬入総計		2,034	2,027	1,942	2,045	1,840	1,977

※R2年度からR6年度5か年平均は、
資源物544t、ごみ1,506t、搬入総計2,050t

リサイクル率の推移

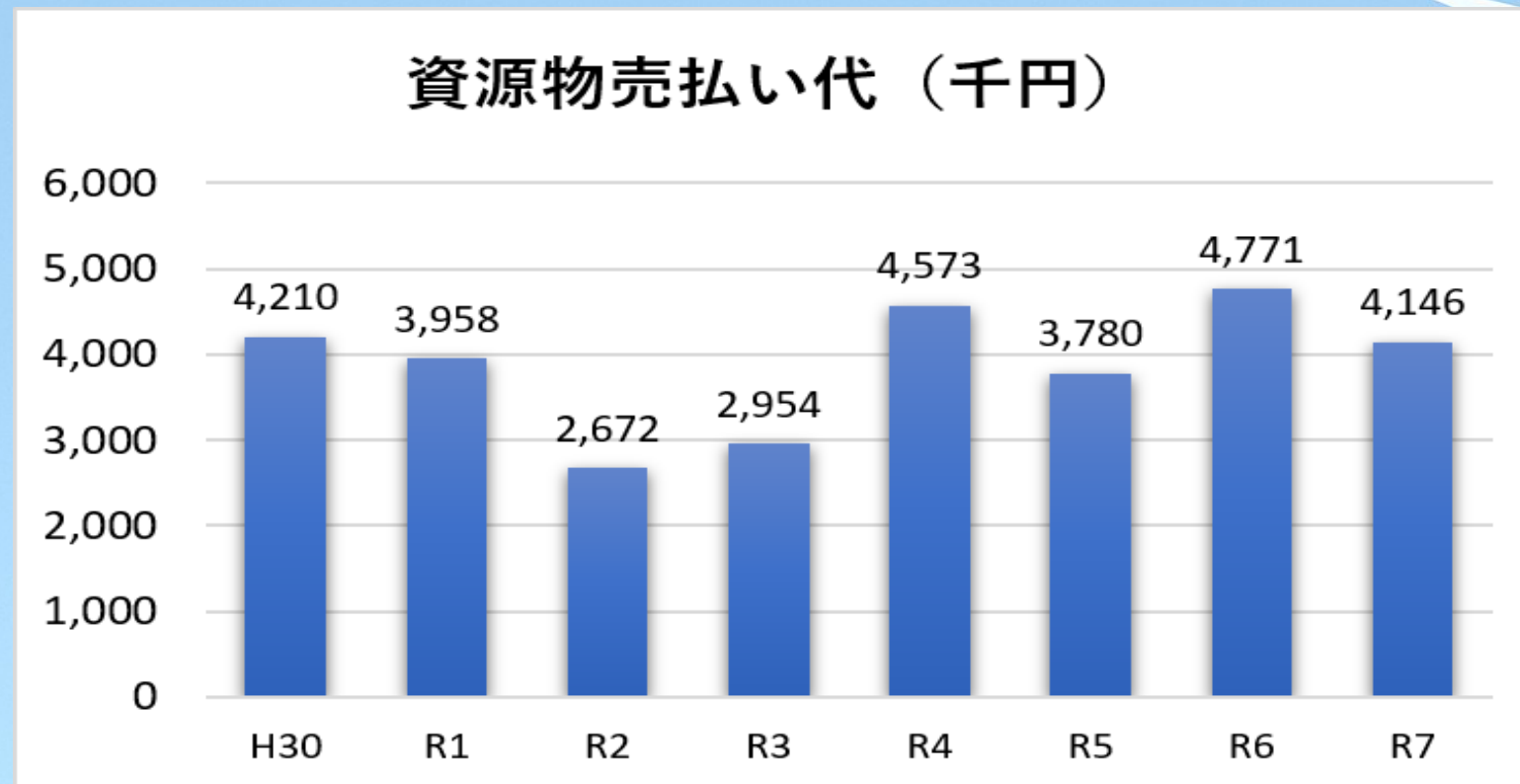
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
大空町	42.7%	42.2%	40.8%	44.8%	43.7%	40.4%	39.3%	41.9%
北海道	23.9%	23.2%	23.4%	23.5%	22.9%	22.8%	22.2%	—
国	19.9%	19.6%	20.0%	19.9%	19.6%	19.5%	19.3%	—



※一般廃棄物処理事業実態調査（国調査）結果を抜粋。（端数処理の仕方で、町で別に公表するリサイクル率と異なる場合がある。）

- 大空町は、北海道・国に比べ高いリサイクル率で推移している。
- 北海道廃棄物処理計画（第6次）のR11年度目標26%以上を既にクリアしている。

資源物売払い代の推移

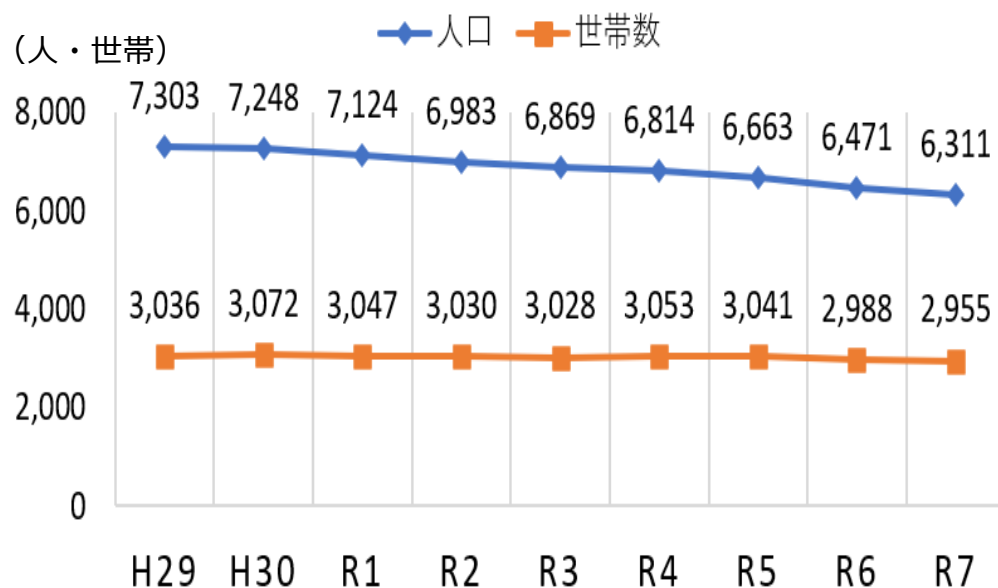


- H29年度途中から、3か月毎の単価設定に変更
- 社会情勢等の影響
- 単価増額の見込みがある場合出荷を調整
- 売払い可能な物品の検討

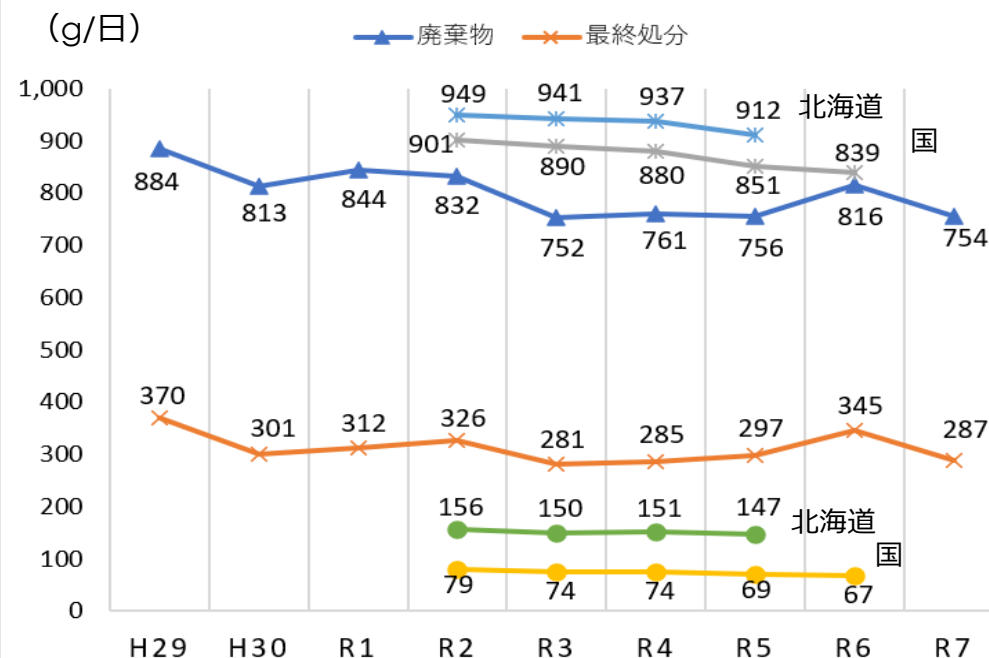
リデュース（ごみを出さない工夫）
リユース（繰り返し使う）
リサイクル（再資源化）

本当に順調に減量化されているのか？

人口－世帯数の推移（9月末現在）



一人1日当たり排出量



令和6年度は、突発的に廃棄物量が増えましたが、人口減以上の減量化傾向が見られます。しかし、一人当たりが排出する廃棄物量のうち、**最終処分量は、北海道・国を上回っています**。廃棄物全体に対する、直接埋立ごみ割合が大きいことが分かります。

(参考) ごみ質調査結果概要 (R3、R5、R6、R7年度実施)

(1) 収集ごみ・直接搬入ごみの組成分析

- ①紙類 ②繊維類 ③木・竹・わら類
④プラスチック類 ⑤ゴム・皮革類 ⑥その他

(2) 可燃ごみの水分、灰分、可燃分を測定

(3) 元素分析 (炭素、水素、窒素、塩素、硫黄、酸素)

<結果抜粋>

燃やせないごみの種類別組成調査結果

燃やすごみに分類されるごみ **26.6%**

うち繊維類 24.7% (布団、毛布、シーツ等)

⇒ 毛布 (綿の入っていない物)、
シーツ、タオルケットなどは中古衣料 (資源物) に出来る。

ごみ処理に掛かる経費

(1) 経費の推移（一般廃棄物実態調査）

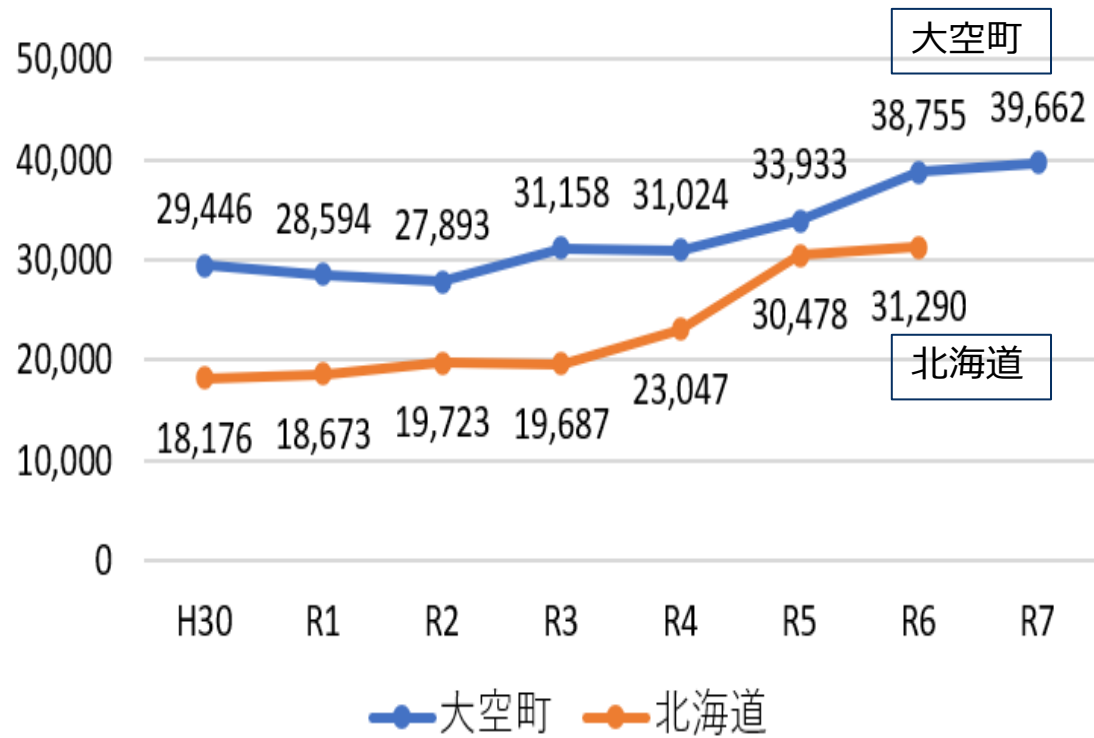


経 費

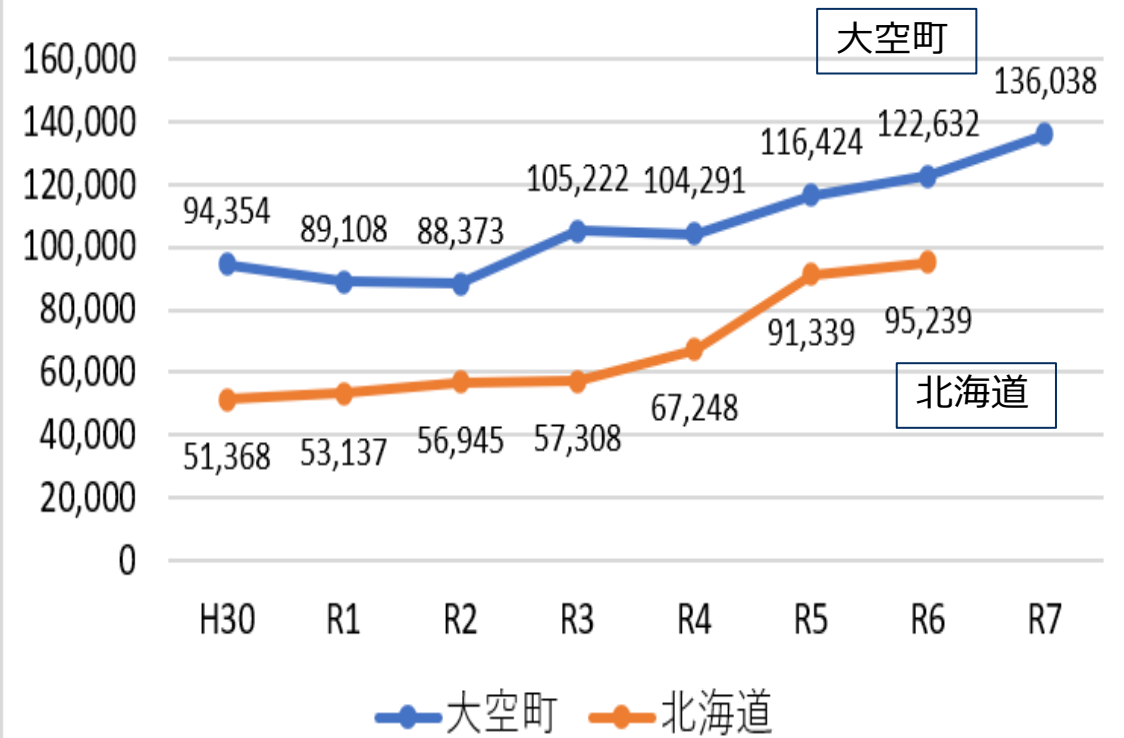
収集・運搬経費（指定ごみ袋作成、収集車経費等）、処理施設管理経費（一般廃棄物焼却処理施設、一般廃棄物最終処分場、リサイクルセンター、生ごみたい肥化処理施設（津別町））

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
経費合計（千円）	213,428	203,702	194,774	214,021	211,397	226,096	250,783	250,310
人口（9月末）	7,248	7,124	6,983	6,869	6,814	6,663	6,471	6,311
1人あたり処理料(円)	29,446	28,594	27,893	31,158	31,024	33,933	38,755	39,662
処理量（t）	2,262	2,286	2,204	2,034	2,027	1,942	2,045	1,840
1tあたり処理料(円)	94,354	89,108	88,373	105,222	104,291	116,424	122,632	136,038

1人あたり処理経費



1tあたり処理経費



- ・小規模の施設では、処理に掛かる経費が割高になることが推測される。
- ・リサイクル率の向上や埋立量減の取組により、処理経費が高くなる場合がある。

(2) 収入の推移（一般廃棄物実態調査）

収 入

ごみ処分手数料（直接搬入）、ごみ収集運搬手数料（指定ごみ袋、ごみ処理券）、焼却施設維持管理費負担金（網走市、斜里町から）、資源物売払代、国・道補助金、町債、その他

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
収入合計（千円）	56,742	48,843	39,962	45,356	36,312	39,284	56,944	53,965
うちごみ処分手数料	2,524	2,767	2,723	1,961	2,033	2,176	2,613	2,363
うち指定ごみ袋	13,461	14,120	14,099	14,791	15,225	19,451	17,419	28,198
うち資源物売払代	4,210	3,958	2,672	2,954	4,573	3,780	4,771	4,146
1人あたり負担(円)	2,786	2,926	2,792	2,869	3,204	3,813	3,833	5,499
うち焼却施設維持管理費負担金	18,495	20,544	20,328	19,853	15,838	10,780	10,763	15,578
うち町債	15,900	5,300	0	0	0	0	18,300	0

経 費	収集・運搬経費（指定ごみ袋作成、収集車経費等）、処理施設管理経費（一般廃棄物焼却処理施設、一般廃棄物最終処分場、リサイクルセンター、生ごみたい肥化処理施設（津別町））
収 入	ごみ処分手数料（直接搬入）、ごみ収集運搬手数料（指定ごみ袋、ごみ処理券）、焼却施設維持管理費負担金（網走市、斜里町から）、資源物売払代、国・道補助金、町債、その他

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
経費合計（千円）	213,428	203,702	194,774	214,021	211,397	226,096	250,783	250,310
収入合計（千円）	56,742	48,843	39,962	45,356	36,312	39,284	56,944	53,965
差引（千円）	156,686	154,859	154,812	168,665	175,085	186,812	193,839	196,345
（再掲）1人あたり 処理料（円）	29,446	28,594	27,893	31,158	31,024	33,933	38,755	39,662
差引1人あたり 処理料（円）	21,618	21,738	22,170	24,555	25,695	28,037	29,955	31,112

広域焼却処理施設整備に向けた進捗状況

主な仕様

- (1) 建設予定地 美幌町報徳
- (2) 敷地面積 約18,000m²
- (3) 施設規模 48 t /日（全連続燃焼方式 処理能力24 t /日炉×2基）
- (4) 余熱利用 場内給湯、場内ロードヒーティング、場外施設への熱供給
- (5) 付帯機能 環境学習機能（児童生徒、住民、企業対象）

事業費（推定）

全体事業費 約160億円（プラント85億円、地元発注分75億円）
補助金等 約37.3億円 + その他活用できる補助金等を検討中

主なスケジュール



時 期	協議・検討概要
令和7年6月	建設候補地決定（美幌町報徳）
令和7年12月	建設予定地決定（美幌町報徳：候補地と同地）
令和8年2月	斜網地区廃棄物処理組合設立
～令和8年7月	メーカーヒアリング、発注仕様書等作成
令和8年8月	プロポーザル公告（公募説明書公告）
令和8年8月～ 9年2月	事業者選定委員会
令和9年3月	優先交渉権者（プラントメーカー）決定
令和9年4月	プラント工事契約
令和9年5月～令和10年7月	宅盤造成工事等
令和10年7月	建築工事契約
令和13年10月～令和14年7月	供用開始

検討必要事項

項 目	内 容
収集区分	生ごみ・可燃ごみの収集区分
収集方法	収集頻度、戸別回収・ステーション回収地区の検討 ※広域中間処理施設への搬入は、ごみ収集車のみが行う。
回収方法	直接搬入ごみの取扱 ※広域焼却処理施設へ大空町民の直接搬入不可 ※保管施設の整備 ※保管施設から広域中間処理施設への運搬方法
指定ごみ袋の統一化	※金額の設定方法が異なる。

ご清聴ありがとうございました。

今後も町の廃棄物行政にご協力お願い
いたします。

大空町住民課・住民福祉課